

## 棲 神 第四十八号 目 次

## 室住先生近影

所 感……………学長望月日滋

序……………理事長小林顕栄

「御講聞書」にそうて……………室住一妙(1)

「御講聞書」考……………浅井円道(19)

御講聞書について……………若杉見龍(30)

宗学の主体性と客体性……………茂田井教亨(42)

身延山における日蓮聖人……………上田本昌(52)

天台大師の少年時代……………野村耀昌(67)

—— 霊夢と両親の死 ——

三乗における仏と法華経の釈尊……………河村孝照(87)

adhimukti-sraddhā……………望月海淑(103)

—— 譬喩・信解・樂草喩品を中心として ——

鎌倉浄土教の展開における対外的契機……………川添昭二(116)

江戸中期における諫曉活動……………宮崎英修(127)

——了權日雄の行動に見る——

身延山墓碑史考……………町田是正(139)

——江戸期諸大名関係を中心として——

横須賀問答の「裂邪網」について……………林是幹(159)

身延裏参道考……………秋山智孝(185)

繰 弁 考……………宮崎海優(196)

老人ホームに於ける処遇……………長谷川寛勝(212)

純粹宗学への道……………正田英肇(222)

ガンダーラ彫刻と大乘仏教の推移……………高橋堯昭(236)

「仏教聖典」に於て仏教用語として用いられた英語について……………大森孝(254)

——その一部——

室住先生略歴・著作目録……………(268)